

平成29年度農学部基本計画(経営戦略)

29.04.17教授会承認

目 標	計 画	平成29年度検討課題	責任者・ 責任委員会
教育の質の向上	生物資源環境学科及び生命環境農学科の充実 －教育コースの充実・学生支援－	カリキュラムの改善(継続) ・早期卒業制度の導入について検討する。 ・新学科におけるグローバル教育及び地域との連携に関係した講義の実施方法を具体化する。 ・卒業研究の実施方法・指導体制について検討する。(継続)	生命環境農学科長
		学習指導体制の点検(継続) ・学習指導の迅速化を図るために、チューター面談シートの改訂等を検討する。 ・単位修得不良者に対する指導体制を点検する。(継続)	生命環境農学科長
		多様な入試による入学者に対する入学前教育の実施とチェック機構の検証(継続)	生命環境農学科長
共同獣医学科の充実 －教員組織の整備とカリキュラム改革－		効果的な教育方法の推進(継続) ・遠隔講義及び教員・学生移動型授業における教育手法をさらに改善・改良する。 ・「公衆・家畜衛生インターンシップ実習」の実施体制を検証する。 ・ケンブリッジ大学との覚書の締結に基づいた「国際獣医学インターンシップ演習」を実施し、その実施方法を検証する。	共同獣医学教育開発推進センター長
		臨床教育の充実(継続) ・臨床分野のうち、6年次開講選択科目の「集団獣医療学特別講義」及び「高度臨床腫瘍学特別講義」について、実施方法の詳細を鳥取大学及び岐阜大学で協議し、決定する。 ・5年次開講の総合参加型臨床実習について、その実施方法を検証する。	共同獣医学科長
		獣医師養成教育の水準向上(継続) ・従前の専門教育カリキュラムから共同獣医学科のカリキュラムへ円滑に移行するため、両大学の学年暦を見据え授業編成を行う。 ・獣医学共用試験を実施し、共同獣医学科第2期生における教育効果を検証する。 ・大学基準協会が提示した獣医学評価ハンドブックの獣医学教育評価自己点検・評価ワークシートに従って、項目を選定した上で自己点検・評価の試行を継続する。	共同獣医学科長
保護者との連携		保護者説明会の開催(継続)	教務委員会委員長
大学間連携フィールド教育への参加		里山フィールド演習の実施(継続) 平成30年度以降の里山フィールド演習の実施を検討する。	教務委員会委員長
大学院修士課程の充実		学生の海外志向とモチベーションの向上(継続) ・第14回日韓合同国際シンポジウムを、大学院生のグローバルコミュニケーション能力強化の場として位置付け、本学大学院生に発表の機会を与える。	農学研究科長(及び専攻長)
		学部でのキャリア教育との連携(継続)	農学研究科長(及び専攻長)
		グローバル人材育成支援事業の枠組みにおける農学研究科の教育の充実(継続) ・クォーター制の教育効果を評価する。	農学研究科長(及び専攻長)
受験生の増大		入試制度の点検(継続) ・調査を継続し、入試制度の改善を図る。	入試企画委員会委員長
		入試広報の充実(継続) ・広報媒体の点検・充実を図る。 ・ホームページによる情報発信の拡充を図る。	広報委員会委員長

目 標	計 画	平成29年度検討課題	責任者・ 責任委員会
教育の質の向上	(前頁続き)	県内受験生の拡大(継続)	入試企画委員会 委員長
		AO入試・推薦入試の見直し(継続)	入試企画委員会 委員長
		就職ガイダンスの充実(継続) ・一般企業編就職ガイダンスについては外部講師を招き、10月から3月に4回実施する。また、公務員編ガイダンスを計2回実施する。 ・生物資源環境学科2、3年生を対象に就職活動シミュレーションの実施を検討する。 ・全学年を対象に一般企業並びに公務員の卒業生との懇談会を実施する。 ・就職活動時期の変更に伴う学生の就職活動状況を把握するとともに、内定状況に応じて、キャリアセンターと連携を取りながら就職支援を強化する。 ・共同獣医学科における企業説明会等の就職支援活動状況を点検し、支援活動内容を検討する。	就職支援委員会 委員長
	地域再生・活性化や「知(地)の拠点形成事業」に関する教育の実施	環境共生科学コース及びフードシステム科学コースの専門科目を中心に、地域の農家等の指導を受けて演習・実習を実施する(継続)。 改組後の新コースにおける実施体制の検討を行う。	就職支援委員会 委員長
研究部の資金の導向上の推進	菌類きのこ遺伝資源研究センター及び鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの充実と活用	きのこ資源が生産する有用生理活性物質の探索(継続) 大学機能強化のための医工農連携での取組である戦略2-3「健康で安全な社会のための菌類きのこ資源の活用推進」を推進し、抽出物を200サンプル作製し、ライブラリーの充実を図るとともに、それを活用して、医薬リード化合物等の有用生理活性物質に関する研究を進め、特許出願1件以上を目指す。また、生物農薬として期待される病害菌の胞子発芽抑制物質等の構造決定を進める。 遺伝資源の充実と利用促進、及び、地域貢献の推進(継続) ・新規きのこ遺伝資源の収集を進め、TUF C保存株数の増加を図る。 ・TUF C菌株の品質管理を進め、公開株数の増加を目指すとともに、菌株のDNA塩基配列情報も公開して、遺伝資源データベースの充実に努める。 ・海外分譲の制度を整え、実施する。 ・きのこ観察会を開催して、地域貢献に努める。	菌類きのこ遺伝資源研究センター長
		研究と地域貢献の推進(継続) ・農林水産省及び環境省との連携により、引き続き今後の高病原性鳥インフルエンザの国内発生に対応する。 ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターとの特定共同研究「鳥由来人獣共通感染症病原体の解析」を推進する。(継続) ・ベトナムとの鳥インフルエンザ国際共同疫学調査を実施する。(継続) ・日本中央競馬会畜産振興事業「豚インフルエンザワクチン株の評価系の確立事業」を推進する。	鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター長

目 標	計 画	平成29年度検討課題	責任者・ 責任委員会
研 究 外 部 の 資 金 の 向 上 の 推 進 	学内・学部内プロジェクトの推進	教育・研究プロジェクトの推進(継続) ・研究プロジェクトの発展に繋がる支援を行う。	学部長
		教員による学部内研究セミナーの開催(継続) ・研究セミナーを継続し、大型プロジェクトへのステップアップに繋げる。 ・新任教員の研究セミナーを開催する。	学部長
	外部資金の獲得	農林水産省・環境省等他省庁を含めた研究費の獲得(継続) 全教員に対して文部科学省以外の省庁等の大型予算獲得への努力を継続する。	学部長
		鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携推進(継続) ・学部長が中心となり鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携会議等を開催する。	学部長
		科研費申請の義務制度の継続及び採択件数の増加に向けての取組実施(継続) ・資金獲得セミナーを実施する。	学部長
		競争的資金等の間接経費の取扱方針の評価(継続) ・光熱水費について、月別推移を把握・公表する。	学部長
	研究機器の整備と有効活用	研究機器の充実と研究の効率化の推進(継続) ・共通機器の導入・管理方法を検討する。 ・マスタープランの整備・点検・周知を行う。	学部長
教員の研究活動活性化支援	教員の研究活動を活性化するための評価・支援方法の導入、特に、若手教員の研究力の強化(継続) ・教員の研究活動の自己点検と評価方法を確定する。 ・若手教員の研究活動支援策を継続する。	学部長	
社会 貢 献 の 推 進	フィールドサイエンスセンターの活用	附属幼稚園、小中学校教育への学習機会の提供(継続)	フィールドサイエンスセンター長
		農業に関する研究・技術の問い合わせ窓口機能を持たせる。(継続)	フィールドサイエンスセンター長
	動物医療センターの充実と活用	地域との連携の推進(継続) ・遠隔治療サービスの本格始動に向けたモデル事業の選定及び試行を行う。	動物医療センター長
		設備の整備(継続) ・リース導入予定の手術用顕微鏡、眼科手術用顕微鏡、放射線治療装置を導入する。	動物医療センター長
		経営・運営面の強化(継続) ・経営コンサルタントの年間委託により経営・運営の改善を図る。 ・脳疾患治療に関して、本学医学部脳神経外科との連携を実践する。	動物医療センター長
		リスク管理体制の強化(継続) ・センターの業務日誌の運用を検証し、改善する。 ・インフォームドコンセントに対するセミナーを開催する。	動物医療センター長
	地域との連携	鳥取県・鳥取市及び大学との連携協定を結んだ自治体との連携の推進(継続) 日南町:平成28年度と同様の内容で連携事業を進める。 南部町:サクラ管理計画を検討する。米の食味向上に関する調査研究を継続する。 琴浦町:芝結束機の普及に向けた改良を実施。 鳥取県:大規模水田作経営の経営管理支援を行う。	学部長

目 標	計 画	平成29年度検討課題	責任者・ 責任委員会
社会 貢献 の 推 進	(前頁続き)	公開講座の推進(継続) ・講座の内容を改善するためアンケート等を行う。 ・地域主催及び大学主催の公開講座に積極的に参画する。	学部長
		農業技術における連携の推進(継続) ・連携に努める。	フィールドサイエ ンスセンター長
		鳥取県農林水産業産学官技術会議への参加(継続) ・活動を継続する。	フィールドサイエ ンスセンター長
運 営 体 制 の 改 善	運営の効率化と透 明化	教育評価など多面的な評価の導入の検討(継続) ・評価の基準を見直し、代議員会等で審議する。	学部長
		農場収入・演習林収入の増収努力(継続) ・作付作日や作付計画を点検し、販売方法を検討する。 ・木材、乾燥椎茸、木工加工品等の作製、販売に努める。	フィールドサイエ ンスセンター長
		予算・決算書の公開(継続) ・代議員会資料としてウェブ上の農学部スペースに公開する。	事務長
		省エネの推進(継続) ・農学部経費削減推進委員会で管理経費の削減目標・計画の作 成と具体的提案を教職員に行い、省エネを推進する。 ・光熱水料の削減目標を設定し、また、使用実績を教授会で報告 するなど経費削減意識の高揚を図る。 ・光熱水料の受益者負担について検討する。 ・エコアクションパトロールを実施する。 ・エアコン使用前のフィルター清掃を実施する。 ・研究用実験室の月別電気使用量をウェブ上の農学部スペースに 公開する。	事務長
		今後の人事基本方針の明確化と公表(継続) ・生命環境農学科の人員配置と将来の人事方針を決定する。	学部長
		教育研究組織と運営の改善(継続) 入試方法の改善方法を検討する。	学部長
確 保 研 究 効 果 的 な	建物改修計画の 推進	安全な教育研究環境の整備(継続) ・安防災管理の自主点検を継続する。 ・地震時行動マニュアルの学生への公表	施設管理委員会 委員長
		周辺施設(FSC・菌類きのこ遺伝資源研究センター・病理解剖棟)の 整備計画の推進(継続)	学部長
国 際 交 流 の 推 進	国際交流の推進	国際交流の推進(継続) ・日韓合同国際シンポジウム等を活用した学生、教員の交流の活 性化と実施体制の検討及び海外学術交流協定校との交流の活性 化を図る。 ・JICA集団研修コースを通じて、国際交流の進展を図る。	学部長
	海外教育研究拠 点の拡大	海外教育研究拠点の活用(継続)	学部長